

番号	14		平成27年度公共事業事後評価調書		担当課名[農地整備課]	
事業名	地域開発関連整備事業 (地域整備促進型)			事業主体	静岡県	
箇所名	ごてんば 御殿場かがやき			市町名	御殿場市	
事業概要						
受益面積	71.0ha	採択年度	平成13年度	完了年度	当初	平成17年度
					実績	平成21年度
事業費	前回	1,659百万円 (H20計画変更時)	実績	1,693百万円		
事業量	区画整理工：面積71ha、農道工：延長8.8km 用水路工：延長14.6km、排水路工：延長7.9km					
事業の目的・必要性						
<p>本地区は、農道幅員が2.0mと狭く農業機械等の乗入が困難であり、農地の区画も小規模のため、作業効率の悪い地域であった。また、本地区内には新東名高速道路等の建設が予定されており、農業生産基盤の整備と併せ、都市計画道路用地の確保に向けた土地利用調整が必要であった。</p> <p>このため、本事業は農業生産基盤の整備により生産性の向上及び農業構造の改善を図り、且つ都市計画道路建設事業の推進に向けて道路用地等を創出し、秩序ある地域整備を促進することを目的とする。</p>						
事業の効果等						
費用対効果 分析結果	前回 計画 変更 (H20)	B/C	1.53	総費用 17.10 億円 (事業費：15.94 億円 再整備費等：1.16 億円)	総便益 26.33 億円 (食料安定供給確保効果：26.33 億円)	基準年 平成20年
	事後	B/C	1.06	総費用 18.44 億円 (事業費：17.02 億円 再整備費等：1.42 億円)	総便益 19.73 億円 (食料安定供給確保効果：19.73 億円)	基準年 平成26年
<p>1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で現在栽培されている作物の単収・単価への置き換えおよび現状の営農状況を反映したことによる作物生産効果の減少。</li> </ul> <p>2) 事業効果の発現状況</p> <p>&lt;食料の安定供給の確保に関する効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾田化及び水管理改良（用排水路の分離）により作物が増収となった。 ※作物生産効果：事業実施前 513kg/10a ⇒ 事業実施後 528kg/10a</li> <li>・小規模分散農地の集約及び道路、用排水施設整備により、営農時間が短縮し作業効率が向上した。 ※営農経費節減効果：（労働時間）895時間/ha⇒185時間/ha</li> <li>・用排水施設等の整備（土水路→二次製品水路）により、維持管理労力及び修繕費が節減できた。 ※維持管理費節減効果：（維持管理費）1,954千円⇒1,077千円</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農家への農地集積が進んだ。 ※事業実施前 2.6ha(4.3%、H13時点) ⇒ 事業実施後 17.7ha(29.5%、H26時点)</li> <li>・換地手法により、集团的優良農地を確保するとともに新東名高速道路用地等を創出することで、都市的施設との秩序ある土地利用を確立した。 ※道路用地創出による土地利用の秩序形成</li> <li>・使用した用水を反復利用できるように用水路下流部に貯留施設を施工し、用水不足を解消した。</li> </ul>						
事業により整備された施設の管理状況						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路や農道等は、御殿場市が適切に維持管理している。</li> <li>・施設の日常の維持管理や簡単な補修・修繕及び農地法面の管理については、ふじのくに美農里プロジェクト活動組織である「西澤水系環境ネットワーク」や「御殿場かがやき圃場地区管理組合」及び選任された「水利管理者」が適切に実施しており、富士山を背景とした緑豊かな田園風景の保全活動に努めている。 ※施設点検：年5回、補修等の技術研修：年5回、農用地保全管理：年14回、水路草刈り：年6回、農道の草刈り及び側溝泥上げ：年8回</li> </ul>						

## 事業実施による環境の変化

- ・ 転作管理組合により、スイートコーン、そば、大豆、麦の栽培が行われるようになった。
- ・ 雄大な富士山を背景に、本事業において整備された農道を散策し、“ごてんばこしひかり”を食する「ごてんばこしひかりウォーキング」などのイベントを定期的に開催するなど都市住民との交流を促進している。
- ・ 平成20年度に御殿場かがやき土地改良区関係者を中心に、ふじのくに美農里プロジェクト活動組織「西澤水系環境ネットワーク」を立ち上げ、農業用施設の日常的な維持管理やほ場法面への景観作物の植栽を行うなど地域美化活動に積極的に取り組んでいる。
- ・ 平成22年度に実施された第3回静岡県景観賞において、本地区の富士山を背景とした雑壇状の水田風景が優秀賞を受賞した。

## 社会経済情勢等の変化

## (1) 地域社会の動向

- ・ 平成24年3月に新東名の一部区間が開通し、現在は平成32年の全線開通を目指して、本格的な工事が始まっている。また、御殿場ICへのアクセス道路の整備も順次進んでおり、地区周辺の広域道路網が充実し交通利便性が更に高まることが予想される。

## (2) 地域経済の動向

- ・ ブランド米である“ごてんばこしひかり”の価格（JA御殿場の精算単価）は、平成24年産米をピークに下落傾向にあり、平成26年産米についてはピーク時の80%にまで落ち込んでいるが、県内他地域のコシヒカリに比べては高い価格（JA一時買取額）を維持している。
- ・ 平成16年から実施している「お米日本一コンテストinしずおか」で、本地区内で生産されたお米が3年連続を含む4回県知事賞を受賞するなど食味値の高い高品質米の生産が行われている。
- ・ ブランド米である“ごてんばこしひかり”が、平成26年6月からの3ヶ月間、ANA（全日空）国際線ファーストクラスの機内食で使用されるなど、更なるブランド化を推し進めている。

## 対応方針（案）

## (1) 評価結果

- ・ 事業効果は十分に発現されており、改善措置の必要はない。
- ・ 区画整理、農道、用排水路の整備により生産量、品質が安定するとともに、営農労力の軽減が図られたため、地区内及び周辺地域の担い手農家への農地集積が進み、耕作放棄地も発生していない。

## (2) 今後の課題等

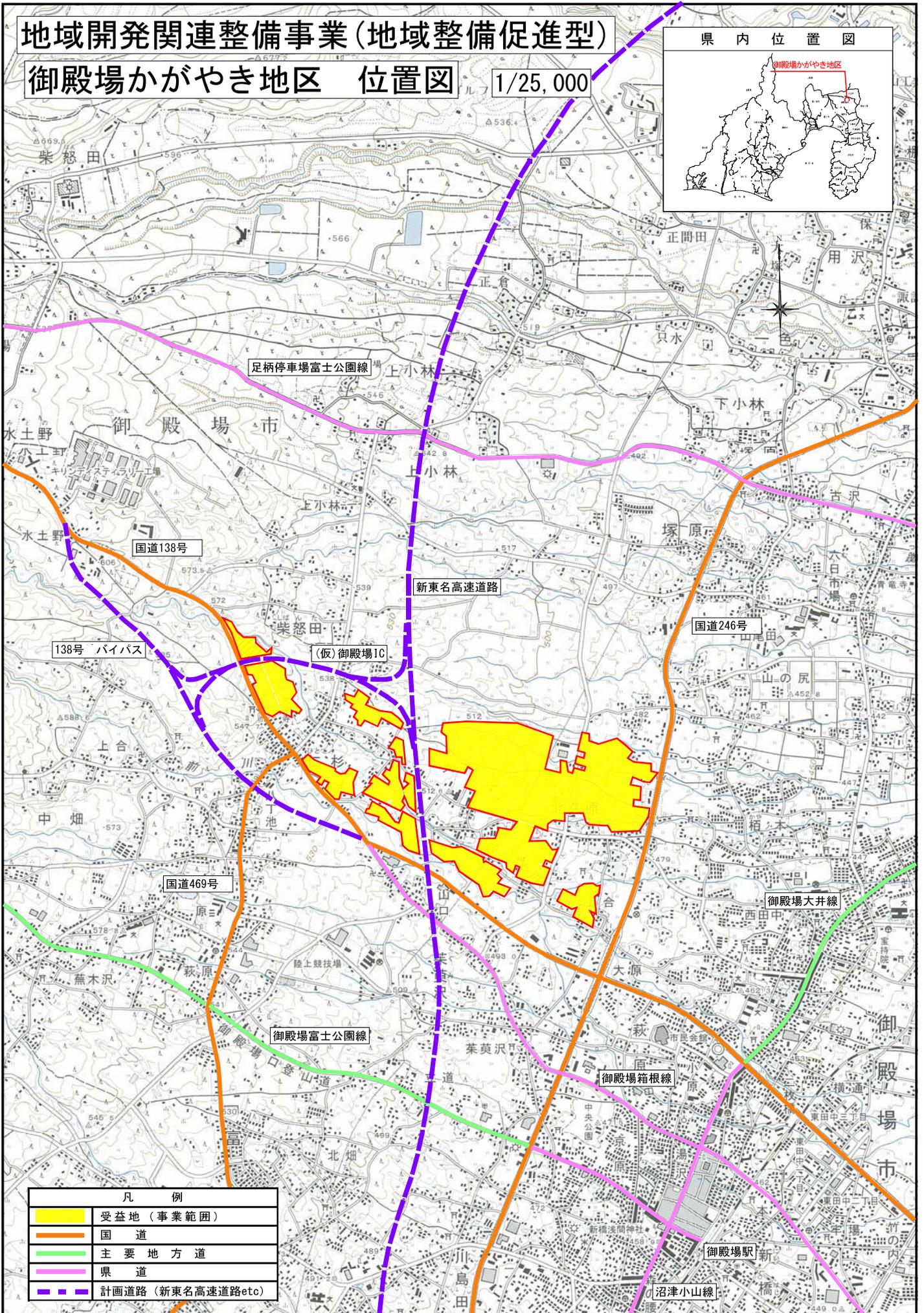
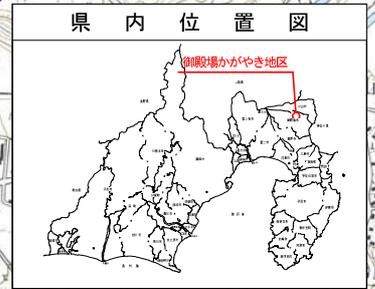
- ・ 産地の競争力強化に向け、農地中間管理機構等を活用した更なる農地集積を行い、営農コストの縮減を図る必要がある。
- ・ 本地域がもつ交通利便性（新東名高速道路、御殿場IC）や地域資源（富士山）を活かし、首都圏との交流促進を図るなど、積極的な販路拡大が必要である。
- ・ 地域ブランドとして確立しつつある“ごてんばこしひかり”の更なるPR強化と転作・裏作の導入による所得の安定化を図る必要がある。
- ・ 作物の生産効果を更に向上させるために、JA御殿場等と共に事業計画に準じた作付けを行う必要がある。

## (3) 同種事業への反映等

- ・ 本事業では、産地・地域が求める営農を検討し、必要な整備を実施している。今後の同種事業についても、本地区の事例を活かすとともに、関係機関との連携により地域の特色を踏まえつつ効率的な整備を推進していく。
- ・ 換地により公共事業等の用地を創設する事業手法は、農業振興と秩序ある土地利用の両立が可能となり、地域の生活環境向上にもつながるため、今後、同種事業においても地域の状況を踏まえつつ実施していく。

# 地域開発関連整備事業(地域整備促進型)

## 御殿場かがやき地区 位置図 1/25,000

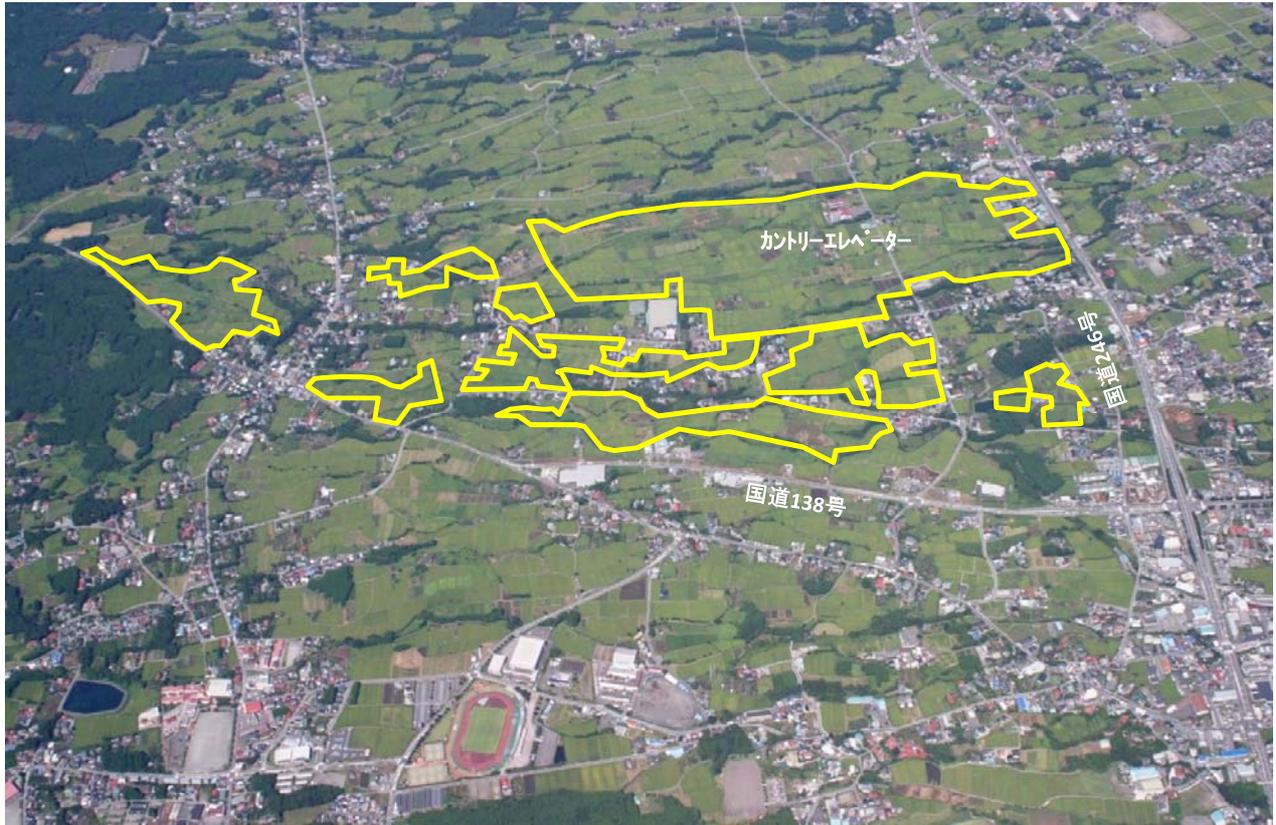


凡 例	
	受益地(事業範囲)
	国道
	主要地方道
	県道
	計画道路(新東名高速道路etc)

# 地域開発関連整備事業御殿場かがやき地区 事業効果

## ●事業効果の発現状況

<地区全景>  
事業実施前



事業実施後



区画整理及び農道整備により、農業機械の導入が促進され、生産性向上や労働時間短縮が図られた

## ●事業効果の発現状況

### <区画整理工>



### 大型農業機械導入による作業効率の向上



### <用水路工>



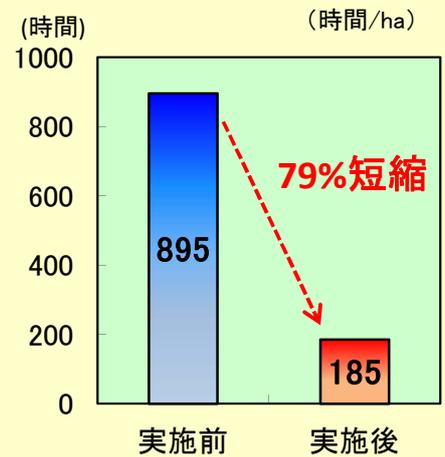
水管理が容易に!

### <農道工>



大型車両も通行可能

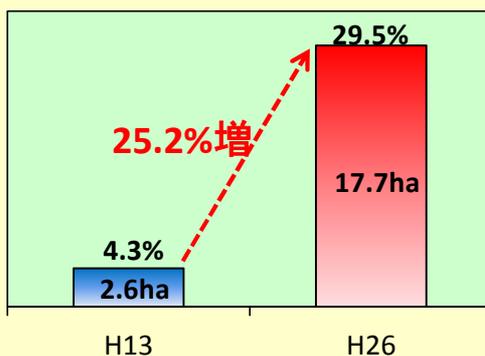
### 水稻の労働時間



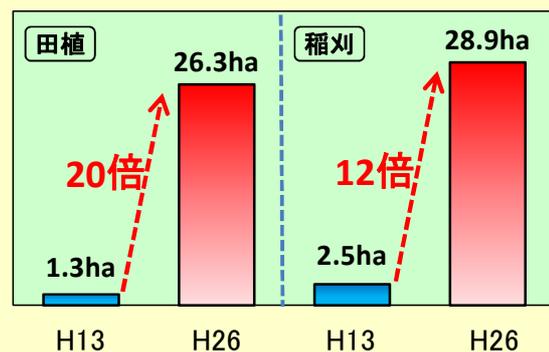
## ●事業実施による環境の変化

作業効率が上がったことで賃借及び作業受託面積が増加し、担い手農家への農地集積が増加

### 担い手農家への農地集積



### 作業受託面積(ha)※1



※1: 本地区関係担い手の作業受託面積であり、地区外受託地を含む

## ●事業実施による環境の変化

「あぜみちウォーキング」などのイベントを開催 ⇒ **都市住民との交流促進**



事業の必要性・重要性をPR



“ごてんばこしひかり”をPR



「第3回静岡県景観賞」で“優秀賞”を受賞  
整備後



田面に映る逆さ富士の中での代掻き作業



記念碑

ふじのくに美農里プロジェクト活動組織「西澤水系環境ネットワーク」による維持管理・地域美化活動



機械の使用も可能に！

水路の適切な維持管理



法面保護&景観向上！

センチピート播種作業



農地周辺での美化活動(花の会)

## ●社会経済情勢等の変化

食味値の高い高品質米の生産 ⇒ “ごてんばこしひかり”のブランド化

- ・「お米日本ーコンテストinしずおか」で3年連続(2007年～2009年)を含む計4回“県知事賞”を受賞
- ・全日空(ANA)国際線ファーストクラスの機内食に採用



H26産米(コシヒカリ) JA買取額(一時金)

- 静岡県全体 9,300円/俵
- 御殿場産 10,500円/俵